

審判員・補助員の仕事(秋季関同選版)

◎補助員(招集係以外)は競技の始まる 10 分前には準備をすること。

1 召集・出発係り(一部監察兼)

持ち物・・・召集用紙、鉛筆 1 本、バインダー 1 枚、(雨天時には透明の袋 1 枚をとる)、
場合によってはトランシーバー

・ゴール付近の記録係のところにある「召集」ファイルの中から担当の紙をとる。

(フィールド種目は「フィールド競技」ファイルの中からとる)

・紙は絶対に濡らさない

・競技開始時間 10 分前には召集完了ができるようにする。但し、他競技との兼ね合いもあるので、競技の少し前まで受け付ける。できる限り出場させる。

・レーン番号、ナンバー、競技者名の順に呼び出しナンバーと本人を確認する。

出場者には○を、欠場者には×をつける。

(・トランシーバーで連絡)

・その後、競技者をスタート位置に誘導し、レーン順に並ばせる。

・スタートの準備が整ったらゴール付近にいる審判長に連絡。

・その際、欠場の選手のレーンや何人で出発するかは召集状況も連絡すること。

・審判長のあげた出発許可の旗を確認後、スターターにスタート許可を出す。

・競技終了後は、速やかに記録係に提出、借りたものを返却して終了。

・監察としては、リレーのバトンの受け渡しに注目し、明らかな違反があった場合にリレー終了後、本部席の記録係に連絡する。

・リレー種目や 400m(逆)のスタート後、競技の妨げになるスタブロの取り外しとそのあとの設置も極力行うこと。

2 黒板担当係

・計時員がピストルの煙を見やすくするために使用。

・計時員とスターターを結んだ直線上で、スターターの後ろに黒板を持って立つ。

・競技終了後はもとにあった場所に戻す。

・リレー種目や 400m(逆)のスタート後、競技の妨げになるスタブロの取り外しとそのあとの設置も極力行うこと。

審判員・補助員の仕事(秋季関同選版)

3 スターター、ストッパー係

- ・ストッパーも兼任している場合、1人2丁のピストルと必要な火薬数を持っていく。
- ・短距離の場合「位置について・・・、用意、××」→立ち位置「後ろ」
長距離お場合「位置について・・・、××」→立ち位置「真横 or 少し前」
- ・ピストルは真上に上げると火薬が落ちるので斜めがベスト。
- ・あまり離れすぎると端まで音が届かない恐れがあるので、そのあたりは適度な距離を保つ。(300m はハンマー投げのネットで計時員から見えにくい場合もある。)
- ・ゴール地点から白旗が上がらない限り出発させてはいけない。
- ・終了後は直ちに返却する。
- ・ストッパーとしては、フライングした時にピストルを鳴らして競技者を止める。
- ・ストッパーが別にいる場合、競技者を止められる場所乃ち前の方にはいなければならない。
- ・リレー種目や 400m(逆)のスタート後、競技の妨げになるスタブロの取り外しとそのあとの設置も極力行うこと。

4 計時係

- ・持ち物・・・計時用紙、鉛筆1本、ストップウォッチ1～2個、バインダー1枚
ストップウォッチはちゃんと機能するかを確認すること。
- ・各自担当レーンの選手のタイムをストップウォッチで計り、その記録を計時用紙に記入。
- ・一番大事な場所なので、はかり間違い書き間違いのないように注意すること。
- ・特に0と6、1と7の区別は明確にする。
- ・10分の1単位で記入。
例) 12"00→12"0 12"01→12"1 のように繰り上げを原則とする。
- ・記録を書いた紙を集めて記録係りに提出。

※4×200mR、4×1000mR においてはレーンもゼッケンも途中から混在してくるので、計時係りは各自決められた担当順位選手のタイムを計る。競技終了後、担当順位者のアンカーのナンバーとチームを確認の上記録とアンカーのゼッケン番号を記入すること。

※110mH、2×50mH においては記録の正確性向上のために1レーンに計時員を2人配置する。2人の測定値とその平均値両方を記入。

審判員・補助員の仕事(秋季関同選版)

5 記録係

- ・ 競技中は本部席で待機。
- ・ 召集係から召集用紙を受け取り、欠場者、棄権者を記録用紙に記入。
- ・ 計時係から受け取った**記録**と**順位**、**風**などを記録用紙にまとめて記入。
欠場、棄権→DNS 途中棄権→DNF 失格→DSQ
- ・ 記入が終わり次第、速やかに掲示板に貼りつける。
- ・ 召集用紙、計時用紙はまとめて保管すること。決して捨てないこと。

6 ハードル

- ・ 競技開始の前に予めハードルの台車をコースの外側に置いておき、前の競技が終了後にすぐに並び始められるようにしておく。
- ・ プログラム記載されている位置マークの色、高さに合わせてハードルを並べる。
- ・ 走ってくる競技者にもっとも近いバーの側面が位置マークの競技者寄りの端と一致させて置く。
- ・ 競技終了後ハードルを台車に戻し、台車も元の場所に戻す。

2013年11月2日作成